CO_2吸収技術の長期安全性評価

CO_2技術が身近な製品として利用される手助けとして、使用環境を模擬した促進試験を実施し、長期間を通して、CO_2固定の信頼性と安全性の基礎データの取得をお手伝いします。

試験概要

図3　試験容器の外観
Fig. 3　Apparatus of immersion vessel

図1　密閉容器試験

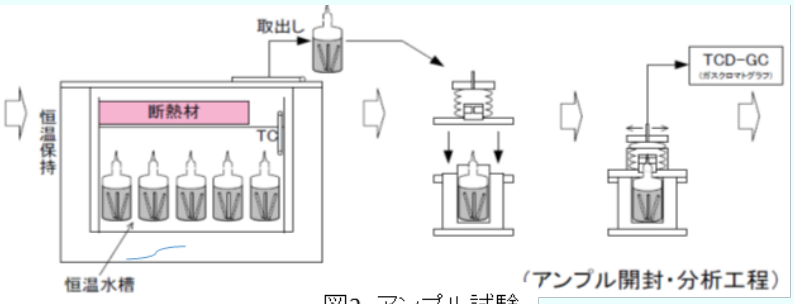

図2　アンプル試験

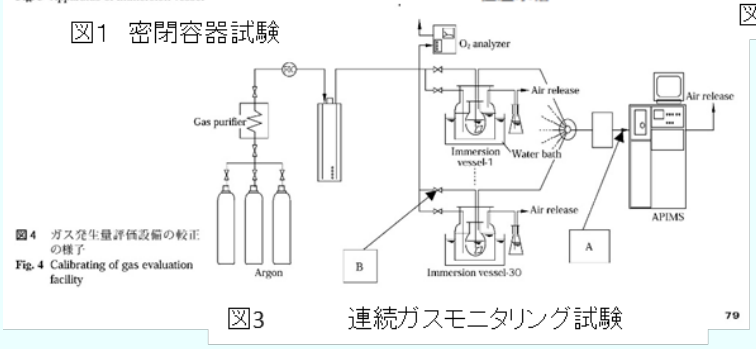

図4　ガス発生量評価設備の較正の様子
Fig. 4　Calibrating of gas evaluation facility

図3　連続ガスモニタリング試験

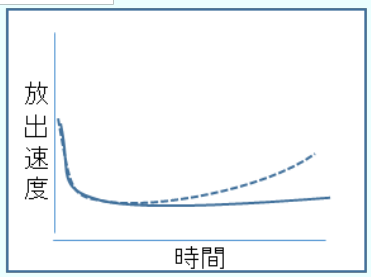

図4　各種環境と長期安定性のイメージ

長期安定性評価技術の変遷

環境信頼性

- 密閉容器
- 密閉2重容器
- アンプル試験（密閉信頼性）

ガス分析　バッチ式　／　ガス分析　連続式

促進温度の限界
水槽：35℃
油浴、オーブン：80℃

腐食評価　ガス分析　連続・バッチ式　試験温度の幅　低温～180℃　ガス採取方法改善　バッチ式　Q-MAS分析

	1990	2000	2010	2020
用途（今後の提案）				
冷媒フロンの課題	R22　R134a			NH_3　CO_2
地層処分　長期安定性評価	炭素鋼　Ti　Zr			
水素富化試験　材料の評価　（水素、アンモニア発電への転用）			SUS316　Ti	
カーボンマイナス　吸着剤の評価（吸収性能、環境安定化性能）への転用				
プラスチック　分解性評価（海洋中、生物分解性、新素材）への転用				

この技術資料に関するお問い合わせは、最寄り営業担当に連絡いただくか、もしくは弊社問合せ窓口までお知らせください。
mailto:inquiry_eigyo@kki.kobelco.com

＜無断複写・転載厳禁＞

株式会社コベルコ科研

No.1040